導者を招聘した授業を行うことと

ため、

県なぎなた連盟の外部指

なぎなたの指導経験者がいな

あたり、

本市の保健体育科教員に

実施した。複数種目を実施するに

種目に取り組み、

中学校で、

の派遣」事業を活用し、

お ける武道(なぎなた)指導

実践

鹿児島県枕崎市教育委員会

保健体育課

崎鰹節」 豊富な魚介類はいずれも新鮮で、古来の伝統と最新技術で製造された「枕 盛んで、 枕崎市は、薩摩半島の西南端に位置し、風光明媚で豊かな自然に囲ま 全国でも有数の港町である。 お茶や電照菊生産の一大拠点になっている。 は、生産量日本一である。また、暖地性気候を生かした農業も 枕崎港に水揚げされるかつおをはじめ、

門で史上初の準優勝、 なぎなた競技では、 催地である。昨年5月には、 ができた。 盛り上げていこうと、 けた準備も本格化してきた。 鹿児島県は本年10月に鹿児島国体が行われ、 鹿児島県勢が活躍し、 普及・啓発に取り組んできた。昨年の茨城国体の 総合成績でも2位と、 本市では、国体に向け市全体でなぎなたを 国体のリハーサル大会が行われ、本番に向 少年女子の演技と試合の両部 すばらしい結果を残すこと 本市はなぎなた競技の開

動に取り組んでいるところである。 この成果を今後につなげ、更に発展させていくために、 現在も普及活



「きばらん海」枕崎港まつり三尺玉大花火

枕崎市教育委員会 事前配布資料

枕崎市のなぎなたの取組

2

指導の実際

中学校武道等授業への地域指導者 平成30年度から武道の授業におい かごしまっ子~ 本市には、 令和元年度は、「『たくましい なぎなたの授業を行ってい 体験を通した普及を目的とし 中学校が4校あり、 育成推進事業』 び る。 習得することができるようにす

道種目に触れる授業の実践研究を 柔道となぎなたの複数 生徒に多様な武 市内の4 る。

④なぎなたの学習を通して礼法を 目の取組は、本市の全4中学校で 学び、 柔道となぎなたの複数の武道種 化を図る。 日常生活に生かして実践

別府中学校については、県の事業 の実践校として推進することとし 山中学校と

①優れた外部指導者と連携した授

以下の4点をねらいとした。

業を実践することで、

技術に教員が触れながら学ぶこ

効率的に指導方法を

②教員が外部指導者と連携して授 業を行うことで、 性を把握するとともに、指導及 つまずきのポイントを習得す なぎなたの特

③専門的な技能に加え、 識の習得及び指導力の向上を図 となぎなたに関する基本的な知 安全指導

行うこととするが、桜

ようにした。

⑴外部指導者とTTで授業を行う

②国体関係で県なぎなた連盟と常 ①授業として行うため、 ど、役割分担を明確にした。 打ち合わせで出た要望や内容 打ち合わせを行った。そして、 当職員が、 指導については教員が行うな や意見も、外部指導者に伝える にした。また、学校からの要望 を、各学校の教員に伝えるよう に連携を図っている市教委の担 者に指導を仰ぐとともに、 の指導に関する部分は外部指導 ための具体的な取組 外部指導者と綿密に なぎなた 全体

準備などを市教委が担当するこ 授業の大まかな流れや、 とに努めた。 学校の負担を軽減するこ 当日の

中学校武道 「なぎなた」の学習

2.実技 ① 礼法(立礼・座礼) ② なぎなたの名称・長さ・豊さ ③ 足さばき・体さばき ③ 足さばき・体ではば。 ④ 自然体・中限の構え・振り上げ・乗り下が・乗用・ ・ は知の構え(すね打ち)、 _{NHの比}

・オリエンテーション
① 講師紹介 ②なぎなたの歴史・特性

授業時の掲示物

中学校武道「なぎなた」の学習

②安全確保のための配慮

①取組の決定後、 なぎなた連盟に依頼し 導に生かせる資料送付を全日本 てあるDVDや、 本について分かりやすくまとめ てもらうために、なぎなたの基 について学校及び生徒に理解し なぎなたの概要 なぎなたの指 D

国体リハーサル大会

ことで、専門的な指導を実施す

ることができた。

また、

複数の

(成果)

3

成果と課題

②授業の導入時に、細かな安全指 取り扱いについても丁寧に説明 導を行った。 の数を調整し、適正な配置に努 対し、外部指導者及び、 した (写真①)。生徒の人数に 生徒へ細やかな指導を行うた 補助員は、 また、

> ③授業中は、楽しみながらも適度 導する際は、しっかりと「聞く 科教員のみの指導とならないよ な緊張感を持たせ、 うに計画した。 15 ても、外部指導者と保健体育 3名を招聘し、どの授業にお 県なぎなた連盟より常時2 指導者が指

施前に活用してもらうよう依頼

なぎなたの

中学校については、

授業実

Dは市の教頭研修会の際、

小中学校に配付して活用を図

①礼法指導 ③体験を重視した授業内容

安全面や個々

補助員

礼法については、 立礼、 座礼

③自然体、

行った。 \$ 員が付き、

指導した。 がらも、 い動きに、 な足さばきや体さばきの動きを なぎなたを行う上での基本的

こと」「見ること」に集中させた。

することに慣れていない生徒 を指導した(写真②)。 姿勢が不 個別の対応や指導を 十分な生徒に補助 正座を

②足さばき、

一生懸命取り組んでい 普段なかなか行わな 生徒たちは苦労しな

体さばき

突などは、指導を通してなぎな なぎなたの持ち方や構え、

構え、

た。外部指導者の示範により、 たの動きに親しむ活動を行 なぎなたに関わる基礎・基本を

導することができた(写真③)。 正しく学ばせ、正しい技術を指

対象:市内4中学校の授業実施ク 250 人 ラス 授業後の生徒のアンケートの実 (男子131人、 女子11人の計

(1)





(3)

) 中学校

3 できた・ややそう思う

授業を通して全体的に評価が高い

ができた

ものとなった。特に質問④「外部

指導者がいることで、

分かりやす

12授業となったか」との問いに対

(課題) 市教委と外部指導者との打ち合 課題は、 度内容が整った段階で、 内容について話し合い、 わせは、補助員の決定や、 科教員につなぐ形で進めた。 情報伝達に時間を要す 保健体 ある程 授業

【授業後のアンケート】

■ 4 評価 ■ 3 評価 ■ 2 評価 ■ 1 評価

授業を通して、

礼法の大切さや

が多かった。

また、

なぎなたに触

より

武道の良さについて実感する生徒

た。

えた生徒が、全体の約97%を占め

し、「よくできた」「できた」と答

た場合、 について、 打ち合わせの場の設定の在り方 連盟関係者と保健体育科教員の となることであった。今後は、 時に保健体育科教員の要望が出 ることや、学校での打ち合わせ 再度市教委がつなぐ形 検討してい

近なものとすることができた れることで、理解を深め、

質問①

質問②

質問(3

おわりに

○なぎなたに初めて取り組 ○外部指導者に指導をしてもらう たが、 ことができた。 が多く、運動が苦手な生徒もい 抵抗なく授業に取り組む む生徒 で、

○生徒のアンケートより、 導等につなげることができた。 体なぎなた競技を、より一層盛 徒が増え、本市で開催される国 たについて改めて関心を持つ生 上げていく気運を高めること 助員にも参加 安全面や個々の生徒への指 いただくこと なぎな

解させ、 いる。 ることを目的とした指導を行って の伝統的な礼儀作法や考え方を理 相手を尊重する心を育て

実践する場合、 教員は免許保有者であり、 回のような専門外の武道を授業で な指導を実践している。 授業において技術も知識も専門的 本市で保健体育を指導している 優れた外部指導者 ただ、 日々の 今

107

である。 機会を設定することは大変有意義 の指導に触れ、指導の幅を広げる

の配慮を最重要視しながら、

武道

武道指導においては、

安全面へ

たり、 更に取り組んでいきたい。 指導力向上に寄与できるように、 するなどして、授業実践を通した 加ができるように啓発に努めたり 道に関する研修会に、積極的に参 通した教科部会の研修を充実させ 本市で開催している授業実践を 県教委が主催する様々な武

月刊「武道 | 2020. 2

なぎなたの授業に関するアンケート

授業を通して,当てはまる番号に○をつけてください

① なぎなたのことについて理解を深めることができたか。

④ 外部講師がいることで、分かりやすい授業となったか

授業を通しての感想を書いてください。 思ったことや感じたこと、学びを深めることできたことなど

あまりできなかった・あまりそう思わない

② なぎなたの技能を高めることができたか

③ なぎなたの礼法を身につけることができたか。

打

つ